

学校教育目標 やさしく、たくましい子どもの育成(やさしく、たくましく)

# よく学ぶ よく遊ぶ 明るくあいさつ 黙って掃除

“子ども、保護者、地域、教職員、みんなが誇りに思い、楽しいと思える学校づくり”

〒801-0833 門司区清滝5-3-21 TEL 331-1708 FAX 331-1709 校長 三栗谷 進

## 福岡県教育委員会発行

### 「高めよう！大人のチカラ」から



「福岡県がめざす子ども」を育てるために「高めよう！大人のチカラ」というリーフレットを新1年生の入学説明会の時に配りました。このリーフレットは、小学校新1年生の保護者を対象にした入学説明会等で活用するために、福岡県教育委員会が作成したものです。子どもがこれからの小学校生活を迎えるにあたり、子どもが意欲的に学び、健やかに成長するために、保護者に意識してほしい子どもへのかかわり方や大人の言動のポイントをまとめたものです。

昨年も紹介しましたが、とても参考になる内容がありますので、再度お知らせします。

福岡県では、教育力向上福岡県民運動を展開しており、子どもが抱える本質的な課題を「学ぶ意欲の低下」「自尊感情の低下」「規範意識の低下」「体力等の低下」の4つとしています。これらの課題克服を目指して作成されたリーフレットでもあります。

日頃の子育てや学校教育の中にも当てはまることが多々あり、参考にしていただきたいと思います。

4つの課題を克服するための取組として、以下の5点が挙げられていました。

#### 1 規則正しい生活習慣を定着させるために

子どもがよく学び、よく運動し、よく遊ぶためには、規則正しい生活習慣づくりが大切です。そこで、

①生活リズムを安定させる。  
早起き→ゆっくり朝食→活動意欲や学習意欲が高まる→心地よい疲れ→早寝

②早寝の環境をつくる。  
寝る前1時間は、テレビを見たりやゲームをしたりしない。寝る場所をできるだけ静かな場所にする。

大人の都合で遅くまで起きていることがないようにする。

朝食の質を考え、脳の活性化を助ける。



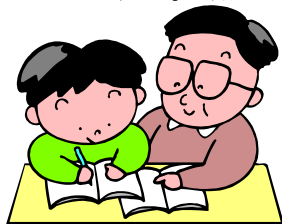
#### 2 学ぶ意欲を高め、学習習慣を身に付けるために

学力向上は学校の大きな役割です。学ぶ意欲を育むには、生活基盤である家庭でのかかわりが大切です。

①学習環境を整える。  
毎日必ず学習する。テレビや音楽を消して机の上をきれいにする。宿題を最初にする。短時間でもよいので読書をする、学習が終わったら翌日の準備をする。

②子どもの家庭学習に意識してかかわる。

低学年のうちはプリントに目を通し、子どもと一緒に時間割を確かめる。小さな頑張りを誉める。



#### 3 自尊感情を高めるために

①子どもの話を最後まで聞く。  
②子どもの話は目を見て聞き、時にはうなずいて共感する。

③日頃から子どものよさに気付こうと意識し、ちょっとした伸びをとらえて誉める。

④「結果」だけでなく「過程」も大切にする。

⑤誉め方を工夫する。



#### 4 役割意識と責任感を身に付けるために

家庭で子どもに役割をもたせ、体験を重ねる事で、子どもは必要な生活技能を獲得し、家族の一員としての意識や責任を身に付けます。

①簡単で、毎日できることから始めよう。  
②要領やコツを教えながら親子で一緒にやろう。  
③時間がかかっても、最後まで待ち、達成感を感じさせよう。  
④感謝の気持ちを伝えよう。

#### 5 社会ルールや尊敬・感謝の気持ちを身に付けさせるために

大人の意識や言動を変えていき、子どものよい手本になりましょう。

①あいさつや言葉遣いを大切にしよう。  
②人を尊敬する姿勢を意識的に示し、尊敬や感謝の気持ちを育てよう。  
③「みんなもやっているから」に流されない。「自分さえよければ」という行動を改める。

詳細は、福岡県庁ホームページから「高めよう 大人のチカラ」で検索してください。

【<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/e04/otonanotikara-reaf.html>】

お読みになって、いかがでしたか？私は、普段、学校通信等でお伝えしてきた内容と重なる部分が多と感じました。特に、「あいさつの大切さ」「感謝の気持ちをもつ」「誉めて伸ばす」そして、「大人が子どもの手本になる」などです。きっと、門司海青小学校の保護者の皆様は、普段の生活の中で意識しながら、「できることを」「できる範囲で」取り組んでいただいていることと思います。

さて、行政が教育に力を入れることは大変重要な要素で、ありがたいことです。しかし、県民運動として展開したり、リーフレットを作成して配布したりするだけでは、教育に力を入れたことにはならないと考えます。これで教育は変わりません。行政に対する思いは色々ありますが、ここでは触れないことにしましょう。

大切なことは、直接子どもにかかわる学校と保護者が、実践できる具体的行動目標を共通してもち、いかに毎日の教育活動や家庭生活の中で取り組み続けるか、ということだと考えます。本校は、「あいさつ」「黙ってそうじ」に取り組み続けています。「黙ってそうじ」を家庭生活で考えると、「身の回りの整理整頓、次の日の準備など」になるでしょう。少なくともこの二つのことについては、継続して取り組んでいきましょう。学校と家庭の双方が、同じことを取り組み続けられれば、必ず子どもが変わります。そして、いわゆる学力も向上することでしょう。

まさにこのような取組が、教育力向上福岡県民運動の趣旨につながるものではないでしょうか。

子どもの健やかな成長のために、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。